

地理空間情報を活用した位置情報サービスの開発

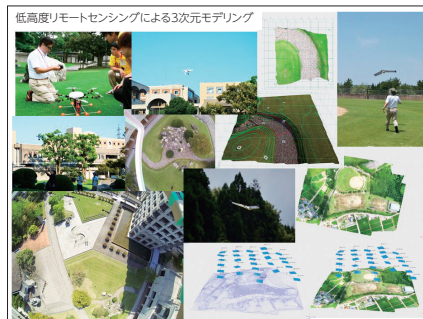
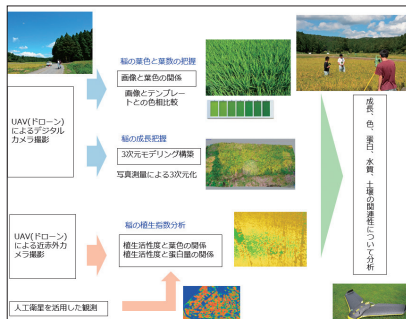
キーワード 地球環境・地域環境／街路樹・農地の植生モニタリング／リモートセンシング・地図／3次元都市モデル／土木構造物のメンテナンス

研究概要

リモートセンシング、衛星測位、レーザ計測、地理情報システムなど地理空間情報に関する要素技術は、ネットワーク、スマートフォンなどICT技術およびIoT技術と共に進歩を遂げている。現在それらを利用した高度な応用技術が求められており、新たな位置情報サービス産業が創出されることが期待されている。

本研究では主に次のテーマの研究を進めている。

- ドローン(UAV)を活用した環境調査、設備点検、農業支援
- 近赤外および熱赤外リモートセンシングによる植生調査
- 準天頂衛星みちびきを活用した位置情報サービスの提案
- 屋内測位法を活用した設備点検
- 3次元モデリング



今後の展開やメッセージ

地理空間情報を活用したさまざまな応用システムを開発し、新しい位置情報サービスを提案したいと考えております。お気軽にお問い合わせください。

研究者情報



徳永 光晴 教授・博士(工学)

工学部 環境土木工学科
所属研究所：金沢歴史都市建築研究所、
地方創生研究所、
KIT×KAJIMA 3D Printing Lab

研究者情報URL

<https://www.kanazawa-it.ac.jp/kyouinroku/a/ACABD.html>
<https://researchmap.jp/mitsuharu-tokunaga>